

今週の活動から



3月8日、厚木公園を出発点として「さよなら原発パレードinあつぎ」が開催されました。あれから4年。忘れてならないことがあります。

「原発いらない！ 再稼働反対！ 子どもの未来に原発いらない！」とにぎやかにコールしながら市内をパレードしました。沿道からの飛び入り参加もありました。

(上：釘丸久子議員)

厚木市立病院建設の第Ⅰ期工事が完成し、3月1日、救急手術棟とA棟がオープンしました。A棟は病棟と管理部門です。4人室はベッドの間に家具



が置かれプライバシーが確保されます。1階のコンビニは取扱商品が増え、隣接するレストランはメニューが豊富です。

(下：栗山香代子議員)

国保の都道府県化が 今国会に提案される

2月定例会議
一般質問

党議員団は一般質問を3月9日(月)の午後に行いました。登壇での質問と理事者答弁です。約2週間後にはインターネットで見ることが出来ます。



栗山香代子議員 現在、第189回通常国会が開かれていきます。小選挙区制にゆがめられて国会

議員の多数を占めた勢力が、国民の願いとはかけ離れた方向に進み、世論調査をみると、政府と国民の思いとのかい離が広がっています。集団的自衛権の行使容認、原発の再稼働、消費税増税、沖縄の米軍基地、そして、福祉の問題もあります。

平成25年に成立した「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」いわゆるプログラム法を受けて、今国会では「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法の一部改正案」が3月3日に提案されたばかりです。

現在、保険者が市町村となっている国民健康保険事業において、厚木市は県内の他の自治体と比較してどうか、また、広域化されればどうなるのかお聞きします。

国民健康保険制度について現状と課題は。

運営の都道府県化に向けての状況はどうか。

都道府県化の課題をどのように認識し、どう対応するか。

市長 国民健康保険の加入者は、年齢構成が高く、医療費は年々増加傾向にありますことから、保険給付費の増加に対し、適正な保険料の賦課、収納率の向上等、安定的な財政運営を図ることが重要であると認識しております。

運営の都道府県化につきましては、国と地方代表者による「国保基盤強化協議会」におきまして、国の改革案が了承され、現在開催中の通常国会に關係の法律案が提出されております。

法律案の内容は、平成30年度から、都道府県が、国保の財政運営の責任主体となり、市町村は、保険料の賦課徴収、資格管理等の業務を行うこととするものであります。

今後につきましては、新たな制度への円滑な移行に向け、現状の保険料率等に大きな格差が生じないよう要望するなど、県等と十分に協議をしながら進めてまいります。

栗山議員 12月議会で質問した第2次厚木市子ども読書活動推進計画

ですが、そのなかに謳われている学校図書館の役割と、厚木市内の小中学校の現状についてお尋ねします。

学校図書館について現状と課題は。

図書館についての今後の計画は。

教育長 学校図書館につきましては、「厚木市立学校図書館運営基準」に基づき、司書教諭やブックライブラリアンが中心となり、より深い学習に資する図書、児童・生徒の心を育てる図書、さらには、児童・生徒のニーズに応える図書の選定を行うなど、蔵書の整備に努めてまいります。

今後におきましても、子どもたちにとって、より魅力的な学校図書館となるよう、取り組んでまいります。

2月定例会議今後の予定

- 3月16日(月) 環境教育常任委員会
- 17日(火) 都市経済常任委員会
- 18日(水) 常任委員会予備日
- 25日(水) 議会運営委・本会議

9時開会です。
ぜひ傍聴においでください。